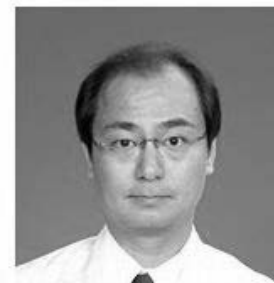


救急科専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに

「地域で求められる救急医療の実践」、これが当院救急科の活動目標です。これを第一線で実践する大きな力がドクターヘリです。ヘリコプターの機動力を生かし、迅速な初期対応を広い地域で実現するために、フライトドクターとして医師自らが救急の現場へ出向きます。現場で、救急隊員とともに初期診療に当たる中、地域の中で育てられていく自分を実感することになります。



そして救急外来では救急車を断らず、24時間365日にわたって各種疾患や各科にまたがるさまざまな救急患者を診療します。また、ICUでは外因性の疾患や多臓器にまたがる疾患について急性期の管理を行います。院内でのコメディカルも含めたチーム医療の実践、そして、他の医療機関・消防機関との連携の中での診療経験は将来の大きな糧になるでしょう。

そして、期間中静岡県立こども病院PICUなど、他の救急施設での研修を通じて、地域の中の医療のあり方、チームの中での自分のあり方、専門医研修の中で、しっかり追求していただきたいと思います。

プログラムリーダー 聖隷三方原病院 高度救命救急センター長・救急科部長 早川 達也

2 目的

本研修プログラムの目的は、「地域住民に救急医療へのアクセスを保障し、良質で安心な標準的医療を提供できる」救急科専門医を育成することです。本研修プログラムを修了した救急科専門医は、急病や外傷の種類や重症度に応じた総合的判断に基づき、必要に応じて他科専門医と連携し、迅速かつ安全に急性期患者の診断と治療を進めるためのコンピテンシーを修得することができるようになります。また急病で複数臓器の機能が急速に重篤化する場合、あるいは外傷や中毒など外因性疾患の場合は、初期治療から継続して根本治療や集中治療においても中心的役割を担うことが可能となります。さらに地域ベースの救急医療体制、特に救急搬送（プレホスピタル）と医療機関との連携の維持・発展、加えて災害時の対応にも関与し、地域全体の安全を維持する仕事を担うことも可能となります。

救急科専門医の社会的責務は、医の倫理に基づき、急病、外傷、中毒など疾病の種類に関わらず、救急搬送患者を中心に、速やかに受け入れて初期診療に当たり、必要に応じて適切な診療科の専門医と連携して、迅速かつ安全に診断・治療を進めることにあります。さらに、救急搬送および病院連携の維持・発展に関与することにより、地域全体の救急医療の安全確保の中核を担うことが使命です。

また当院は浜松方式と呼ばれる救急医療体制の二次救急輪番病院であり、三次救急医療機関の中でも高度救命救急センターに指定されています。連携研修施設も輪番病院、三次救急医療機関を含むだけでなく、へき地医療の拠点病院、小児救命救急センターなど、静岡県の救急医療を網羅的に経験することができる環境が整っています。

3 目標

専攻医のみなさんは本研修プログラムによる専門研修により、以下の能力を獲得することを目標とします。

- 1) 様々な傷病、緊急度の救急患者に、適切な初期診療を行える。
- 2) 複数患者の初期診療に同時に対応でき、優先度を判断できる。
- 3) 重症患者への集中治療が行える。
- 4) 他の診療科や医療職種と連携・協力し良好なコミュニケーションのもとで診療を進めることができる。
- 5) ドクターヘリ（ドクターカー）を用いた病院前診療を行える。
- 6) 病院前救護のメディカルコントロールが行える。
- 7) 災害医療において指導的立場を発揮できる。
- 8) 救急診療に関する教育指導が行える。
- 9) 救急診療の科学的評価や検証が行える。
- 10) プロフェッショナルリズムに基づき最新の標準的知識や技能を継続して修得し能力を維持できる。
- 11) 救急患者の受け入れや診療に際して倫理的配慮を行える。
- 12) 救急患者や救急診療に従事する医療者の安全を確保できる。

4 特徴

静岡県聖隷三方原病院救急科専門研修プログラムは静岡県浜松市の北部に位置する、総合病院である聖隷三方原病院を基幹研修施設とし、4つの研修連携施設からなる研修施設群を形成しています。

基幹研修施設は、高度救命救急センターであり、浜松市内の二次救急輪番病院であり、浜松市北部の救急医療の拠点として救急診療を展開しています。またドクターヘリの運航実施施設でもあり、静岡県西部から愛知県東部をカバーする病院前診療では地域医療機関との連携、消防機関との連携など、病院内では学ぶことのできない実地修練が専攻医のみなさんの救急医としてのスキルを向上させるものとなります。

連携施設である、浜松市内の二次救急輪番病院である聖隷浜松病院は救命救急センターであり、多様な診療科との連携や豊富な手術件数の実績があります。市中病院であるからこそ、症例経験を積むことができます。

浜松医科大学医学部附属病院では、浜松市内の二次救急輪番病院としての救急診療だけではなく、医科大学附属病院として、リサーチマインドをより醸成する素養を養ってくれるでしょう。

静岡市に位置する静岡県立こども病院は、小児救命救急センターであり、静岡県内の小児医療の最後の砦として、受け入れ医療機関として、病診・病病連携の経験を含め、多様な小児救急診療の経験ができます。

佐久間病院は静岡県北西端に位置し、愛知県、長野県の県境に接する地域において、地域医療の拠点としての診療を展開しています。基幹施設との連携も多く、ドクターヘリでの転院搬送などを通して、基幹施設との病病連携など、地域密着型の医療機関における診療を経験することができます。

基幹研修施設を始めとした多様な連携施設での研修を組み合わせ、専攻医のみなさんが地域や社会に望まれる救急医となれるよう支援しております。また、各施設の指導医や専門医を始め、コメディカルも含めたスタッフは豊富な症例経験の元、専攻医のみなさんが救急医としての研修が充実したものとなるよう、サポート致します。

また西部地域で3施設（聖隷三方原病院、聖隷浜松病院、浜松医科大学医学部附属病院）がそれぞれに独自性を持った基幹プログラムを策定していますが、各施設が各プログラムの連携施設としても参画することで、静岡県西部地域、ひいては静岡県全体から全国を活躍の場とできる救急医療の担い手を育

成することを目的としています。相互のプログラムが切磋琢磨し、また協力しあいながら教育が実施できるような体制がとられています。

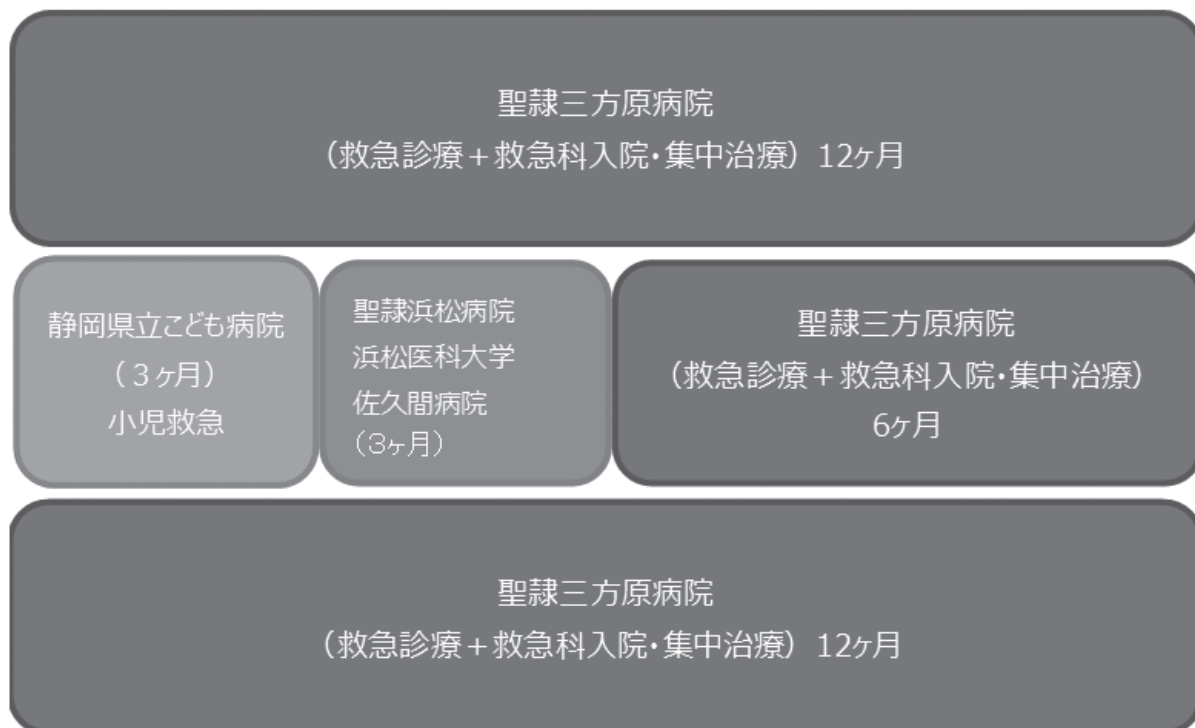
5 研修カリキュラム

学会にて示されている下記のカリキュラムに沿って学んでいただきます。

- I 救急医学総論
- II 病院前救急医療
- III 心肺蘇生法・救急心血管治療
- IV ショック
- V 救急初期診療
- VI 救急手技・処置
- VII 救急症候に対する診療
- VIII 急性疾患に対する診療
- IX 外因性救急に対する診療
- X 小児および特殊救急に対する診療
- X I 重症患者に対する診療
- X II 災害医療
- X III 救急医療の質の評価・安全管理
- XIV 救急医療と医事法制
- X V 医療倫理

6 研修例

研修は基幹施設である聖隷三方原病院を中心に、専攻医2年次に静岡県立こども病院での小児救急領域研修（3ヶ月間）を必須とし、その他の連携施設より選択にて3ヶ月間の研修となっています。



年次毎の研修計画

【専門研修1年目】

- ・ 基本的診療能力（コアコンピテンシー）の習得
- ・ 救急診療における基本的知識・技能の習得
チームの一員として救急診療に参加します。
各種エコー検査、グラム染色、人工呼吸器など検査技師、臨床工学技士主催の勉強会も活用し技能を高めます。
- ・ 集中治療における基本的知識・技能
上級医のサポートとして重症患者治療のチームダイナミクスを習得します。
また、上級医のサポートの元、重症患者治療を行います。
- ・ 病院前救護・災害医療における基本的知識・技能
ドクターヘリ OJT ドクターとして、病院前救護について学びます。
シミュレーション訓練、DMAT訓練などでの見学、参加を通して学びを深めます。（各年次を通して）
- ・ 必要に応じて他科ローテーションによる研修を実施します。
- ・ 各種講習会へ受講者として参加し、インストラクターとしての参加も目指します。（各年次を通して）
- ・ 学術・研究活動へ積極的に参加します。（各年次を通して）

【専門研修2年目】

- ・ 基本的診療能力（コアコンピテンシー）の習得
- ・ 救急診療における応用的知識・技能
チームリーダーとして救急診療を行える力を養います。
- ・ 集中治療における応用的知識・技能
上級医のサポートの元、重症患者治療を行います。
- ・ 病院前救護・災害医療における応用的知識・技能
ドクターヘリ OJT ドクターから単独搭乗へ向け、上級医のサポートの元、病院前救護のリーダーシップが取れるよう修練します。
- ・ 必要に応じて他科ローテーションによる研修を実施します。
- ・ 連携施設における地域医療・連携研修を通して、地域医療や医療連携について学びを深めます。

【専門研修3年目】

- ・ 基本的診療能力（コアコンピテンシー）の習得
- ・ 救急診療における実践的知識・技能
チームリーダーとして救急診療を率先できる力を養います。
- ・ 集中治療における実践的知識・技能
チームリーダーとして重症患者治療を行います。
- ・ 病院前救護・災害医療における実践的知識・技能
ドクターヘリ単独搭乗ができ、各種機関との連携や病院前救護において牽引できる力をつけます。
メディカルコントロールを通して、地域と病院前救護を学びます。
- ・ 必要に応じて他科ローテーションによる研修を実施します。

7 研修病院群

- ・ 総合病院 聖隷三方原病院 ・ 総合病院 聖隷浜松病院 ・ 浜松医科大学医学部附属病院
- ・ 浜松市国民健康保険 佐久間病院 ・ 静岡県立こども病院

専門医、指導医の不在施設における研修については、基幹施設である聖隷三方原病院の指導医が連携施設の医師と協力し、その指導を補完します。

8 研修期間

- ・ 研修期間：3年間（状況により延長可能）
- ・ 研修修了後のスキルアップ：サブスペシャリティ領域での専門医取得を目指す方は、連携施設における集中治療医学領域専門研修プログラムへ進む、または医学博士号取得へ向けての進学も可能です。